

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

+++++

++ CONTENTS ++

【1】青銀会理事によるリレーエッセイ： 理事 森 勇介氏

【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ（近畿経済産業局の案内転載）

【3】編集後記

+++++

Internship on Campusによる社会人基礎力の向上

大阪大学大学院工学研究科 森勇介

社会の活力向上においては、若者が健全に元気になることがとても重要です。そのような趣旨からか、最近では社会人基礎力や学士力という言葉が良く聞かれるようになりました。実は、私も大阪大学大学院工学研究科において社会人基礎力養成プロジェクトを実施していますが、これが中々面白く、学生さんも元気になっているように感じますので、少しご紹介させていただきます。

社会人基礎力養成を実施するキッカケは2001年に遡ります。当時、日本では米国とは異なり、なかなかベンチャービジネスの創出や効果的な産学連携が実行されないということが問題視されていました。私も研究開発プロジェクトを通じて産学連携に携わっていましたが、何が成功のポイントで何が上手くいかないポイントなのかが分かりませんでした。よくシリコンバレーとの比較で原因とされていました政府の支援体制など政策的な問題だけでなく、日本の文化、教育システムにも大きな原因があるのではないかとってはありましたが、明確な回答を得るには至っておりませんでした。そのような時に、偶々飛行機の中で心理学者に出会ったことで、心理学的なアプローチを研究開発プロジェクトの活性化に活用することを思いつきました。そして、下記HPIにも御座いますように、この心理学的なアプローチが、個人のやる気を引き出し、人と人とのコミュニケーションを円滑にするのに有効な手法であったのです。

「産学連携の失敗リスクを排除「心理療法」で異分野連携促進」(2007年2月8日)
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20070110/258351/?ST=enterprise>

これまでの産学連携や異分野連携などの経験から、現場で困った場面においてその時々心理学的なアプローチなどで問題を解決する方が、講義などの座学だけで理論を学ぶよりも具体的なイメージが捉えやすく、より効果的ではないかと感じておりましたので、社会人基礎力育成プログラムの検討でも、大学内の研究室で実施されている研究テーマを活用して、「Internship on Campus」的に実施するのが良いのではないかと考えました。

工学部では、研究室に配属された4年生や大学院学生は、研究室で研究テーマが与えられ、教員や先輩達から研究開発の「いろは」を学びます。一方、研究室の指導では教員の色が強く出るため、良くも悪くも指導方針は教員任せということになります。特に、大学教員は「考え抜く力」を重点的に鍛えてきた人が多いので、社会人基礎力育成プログラムで重要となる、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」全てをバランス良く学生さんに教えるのは容易ではありません。

そこで、共同研究を実施している企業の方や研究室OBの方などに講師になって頂き、その講師の方が、研究テーマに関するロードマップやベンチマーク、実験計画書などの作成を通じて、学生の方に企業でのプロジェクトの進め方、研究テーマの価値、大学と企業での研究に対する考え方の違いやそれぞれの意義、社会人として必要とされる基礎力や研究マネジメント力などの基礎力を教えられる仕組みを取り入れました。

先に述べました異分野連携プロジェクトでは、心理学的なアプローチによる個々のメンバーのやる気の向上とメンバー間のコミュニケーション活性化が、とても重要な役割を果たしました。特に、「前に踏み出す力」、「考え抜く

力」、「チームで働く力」の3つの能力を育むためには、「自分は駄目だ」という思い込みなどの、トラウマに起因するマイナス要因を取り除くことが重要だと分かりましたので、その概念を社会人基礎力養成プログラムに取り入れています。

大阪大学で実施いたしました社会人基礎力プログラムでは、POMRを習得している産業カウンセラー（根岸和政特任研究員）が参加し、評価シートなどから個々の学生の方々の悩みや問題点を心理学的な観点から解析し、教員・講師や学生の方々へアドバイス、そして必要に応じてカウンセリングできるような体制にしています。さらに、コミュニケーションスキルなどの講義や日々の会話を通じ、参加者全員が、人間がやる気を出したくなる原理や良いコミュニケーションのポイントを理解できるようにしています。本プロジェクトが最初の趣旨どおり、社会の活性化に繋がればと思っております。

▼△▼△

【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ

▼△▼△

■□■□ 近畿経済産業局からのご案内 □■□■

いつもお世話になっております。
近畿経済産業局 産学官連携推進課の堀内でございます。

6月に入り、もうすぐ梅雨のシーズンが始まります。
気象庁によると、近畿の今年の梅雨入りは6/6、梅雨明けが7/19頃になるそうです。

雨の日の肌寒さや晴れ間の暑さにより、梅雨は体調が崩れがちになる季節です。

そんな梅雨を元気に乗り切る簡単な対策として、38－40℃ぐらいのぬるめのお湯での半身浴で汗を流すことや、晴れている時は外に出かけ、日光にあたるのが効果的だそうです。

体調管理に気をつけて、梅雨を乗り越えましょう。

当課のメールマガジンでは、特に公募事業に関しては、できる限り幅広く、かつ何度も繰り返して情報を発信することによって、皆さまが情報を見逃してしまわないようにして参りたいと考えております。

本情報が少しでも皆様のお役に立てることを願っている次第でございます。

皆様お忙しい中恐縮ですが、大学発ベンチャー等への周知もよろしく願いいたします。皆様の中で本メルマガに掲載して欲しいといったイベント等ございましたら、簡単なメルマガ原稿とともに堀内(horiuchi-haruka@meti.go.jp)までお知らせ下さい。次回以降に反映させていただきます。

::☆。:*。*。:☆。:*。*。:☆。:*。*。:☆。:*。*。:☆
:::目次:::

★TOPIX★ <平成21年度補正予算事業>

- 1.「平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業」のご案内
【経済産業省中小企業庁】
- 2.「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金
(試作開発等支援事業、製品実証等支援事業)」のご案内
【全国中小企業団体中央会】

★公募情報★

4/6 ページ

(株式会社藤橋商店)

4.『木質バイオマスエネルギーの市内循環型システムの構築をめざして』
(兵庫県豊岡市)

●講演【平成17年度 事業者発表】

『物流分野におけるバイオ燃料活用プロジェクト』(パナソニック株式会社)

●詳細は下記のURLをご参照下さい。

<http://www.kansai.meti.go.jp/3-9enetai/biomass.fs/6th-biomasskaigi.html>

●お問い合わせ:近畿経済産業局エネルギー対策課 TEL:06-6966-6043

★☆☆~~~~~☆☆

6.「2009年版 ものづくり白書説明会」の開催について

【財団法人経済産業調査会】

★☆☆~~~~~☆☆

米国の金融危機に端を発した世界同時不況は深刻度を増し、我が国経済にも大きな影響を与えています。我が国のものづくり産業は、急速な生産調整を余儀なくされ、これに伴って雇用情勢は厳しさを増しています。

こうした中、今回の危機を変革へのチャンスととらえ、人材を始めとする経営資源の磨き直しや次世代有望分野への投資等を進めていくことが必要です。さらに、これまで内需型産業とされていた産業も含めて、21世紀の成長センターであるアジアとともに成長するという発想を持ち、成長するアジア全体で富を産み出し、それを日本の雇用やイノベーションにつなげ、それをアジアの更なる発展につなげるという好循環を作っていくことが重要です。

本説明会では、我が国ものづくり基盤技術の現状と課題、ものづくり基盤技術の振興に関して講じた施策などについて説明いたします。

この機会に、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます

●日時:平成21年7月6日(月) 14:00~15:30(開場13:30)

●場所:国民會館 小ホール

大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階

TEL06-6941-2433

(京阪電車天満橋駅より徒歩5分・地下鉄谷町線天満橋駅より徒歩3分)

●主催:財団法人経済産業調査会

●聴講料:無料

●講師:経済産業省 製造産業局

政策企画官 苗村 公嗣 氏

●申込:(財)経済産業調査会 近畿本部 事務局 説明会係

TEL 06(6941)8971 FAX06(6941)8974

E-mail:seminar@chosakai-kinki.jp

●詳細は以下のHPをご覧ください

<http://www.chosakai.or.jp/seminar/seminar-annai.htm>

★☆☆~~~~~☆☆

7.「事業所向けサービス業等推進事業」のご案内

【兵庫県】

★☆☆~~~~~☆☆

1. 事業所向けサービス業補助

兵庫県内の中心市街地、商業地域、近隣商業地域内で、事務所を開設・拡充する事業者に対し、事務所賃料の1/4以内を6か月間補助します。(上限50万円)ただし、新規(追加)地元雇用者が3人以上の事業所に限ります。

2. 情報産業集積促進補助

宝塚市※1または神戸市長田区※2で、情報サービス業やコンテンツサービス業を開設・拡充する事業者に対し、事務所賃料の1/2以内を1年間補助します。(上限100万円)

●詳細は以下のURLをご覧ください

(事業所向けサービス業補助)

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ie08/ie08_000000027.html

(情報産業集積促進補助)

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ie08/ie08_000000028.html

●お問い合わせ:産業労働部産業振興局新産業立地課

TEL:078-362-9189

FAX:078-362-4273

☆.:*.*.:☆.:*.*.:☆.:*.*.:☆.:*.*.:☆

近畿経済産業局 地域経済部 産学官連携推進課

メルマガ担当者 堀内 悠

E-mail: horouchi-haruka@meti.go.jp

〒540-8535 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館

Tel:06-6966-6164(直通) / Fax:06-6966-6079

☆.:*.*.:☆.:*.*.:☆.:*.*.:☆.:*.*.:☆

【3】編集後記

6月1日の大会・総会・懇親会を無事終えさせていただきました。

新インフルエンザで大学までも休校となり、世間がマスク姿で塗りつぶされている最中の開催でしたが、勇気あるご出席をされました方々には、改めまして厚くお礼申し上げます。

当日は、約60名のご出席で、うち22名が外部からのご出席でした。

ご案内をお願いしました各団体様にも、紙面をお借りしまして、御礼を申し上げる次第です。

講演の内容は、おゆるしを得た範囲で、ホームページに資料を掲載させていただきましたが、なかなか興味深く、値打のある会合だったとのご感想もいただきまして、事務局としまして、ありがたく思っています。今後とも、ご支援いただきますよう、お願い申し上げます。(稲)

□ 発行責任者:青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>

■ 編集:青い銀杏の会 事務局

□ メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

■ このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。

□ Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.